

## 第2期とやま未来創生戦略の概要

### 1 基本的な考え方

・「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の総合戦略を勘案しながら、地方創生に関する目標、講ずべき施策に関する基本的方向、講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を記載。

・また、平成27年に策定し、令和2年3月に進捗状況を公表した「富山県人口ビジョン」に示す人口の将来展望を見据え、人口減少を克服し、本県の特色、強みを活かした持続可能で活力あるとやまの未来を創造するため、今後5カ年（令和2～6年度）に取り組むべき実効性ある施策を盛り込んでいる。

### 2 策定のポイント

#### (1) 県民の知恵とパワーを結集

市町村や経済界、県民など各分野の代表や有識者等からなる「とやま未来創造県民会議」で2期戦略に関する議論をいただいたほか、北陸新幹線の敦賀開業、更には大阪までの延伸を展望し、官民を挙げた取組みの基本となる新たな戦略の策定に向けた調査・検討を行う「新幹線延伸戦略検討委員会」における意見、各界で活躍される30代から40代の若手の方々を中心とした「とやま未来創造青年プロジェクトチーム」からの施策提言、県内4地域（新川、富山、高岡、砺波）で実施したタウンミーティング、パブリックコメントでの県民の皆様の意見を踏まえるなど、県民の知恵とパワーを結集。

#### (2) 北陸新幹線の敦賀延伸効果の最大化など分野横断的な観点を設定

社会・経済等を取り巻く新たな潮流・局面に対応できるよう、分野横断的な観点として、①北陸新幹線敦賀延伸の効果を最大限に発揮するための取組み推進、②SDGsのさらなる推進、③Society5.0の実現に向けたIoT・AI、5G等未来技術の活用、生産性向上等の3つの観点を設定。

#### (3) 4つの基本目標における新たな視点の追加

これまで取り組んだ5年間における成果・課題、社会・経済状況の変化等を踏まえ、4つの基本目標の達成に向けた施策のブラッシュアップはもとより、①働き方改革のさらなる推進等を通じた少子化対策、②移住・定住の環境づくりと応援人口の創出・拡大、③外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり、④若者を含む多様な人材の確保・育成、⑤人生100年時代を見据えた人づくり、⑥豊かで魅力ある中山間地域の実現といった新たな視点を加え、これまでの取組みをさらに強化・拡充。

#### (4) 県全体がバランスのとれた発展をめざす

各地域を代表する方々にも「とやま未来創造県民会議」のメンバーに参画いただき、県内の各地域の課題、特色や強みなども十分考慮の上、具体的な施策等について議論を実施。また、「県・市町村地方創生連絡会議」を設置し、市町村で策定される総合戦略の基本目標や施策の基本的方向と県戦略の整合を図るとともに、具体的な施策展開等の面で連携強化を図りながら、富山県全体でのバランスのとれた発展を推進。

#### (5) PDCAサイクルにより実効性を確保

戦略の実効性を確保するため、戦略に掲げる事業を中心に、具体的な施策ごとに、きめ細かく設定した重要業績評価指標（KPI）をもとに、平成27年度以降、従前戦略に掲げた各般の取組みの達成状況を把握し、「とやま未来創生戦略施策等評価会議」において評価・検証を実施。本戦略についても、引き続き、こうした取組みからなる、PDCAサイクルによるマネジメントシステムを的確に運用し、戦略の効果を最大限に高め、持続可能で活力ある未来の創造を推進。

## 2 基本目標別の施策のポイント

### ◆基本目標1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

**数値目標** : 県民希望出生率「1.9」を目指す

[基準 (H30)] 1.52 → [R6]引き上げる

#### <結婚・妊娠・出産支援>

- とやまマリッジサポートセンターのPRを強化し、会員数の増加を図るとともに、休日サテライト開設などによる会員の利便性向上、支援員の養成やスキルアップ研修の実施など、**結婚支援体制を強化**
- 企業等との連携強化により、企業や業種間の交流を促進し、**自然な出会いの機会を創出**
- 結婚、妊娠・出産に関する正しい知識や赤ちゃんふれあい体験などによる生命の尊さを学ぶ**ライフプラン教育等を推進**
- 「富山くらし・しごと支援センター」(富山、東京(有楽町・大手町)、名古屋、大阪オフィス)における情報発信や相談体制の充実等により、**若者・女性を中心とした移住・U I Jターンを促進**
- 首都圏の社会人女性と県内企業の女性社員や女性経営者との座談会を開催するなど、**女性のUターン就職や起業を促進**
- 「くらしたい国、富山」推進本部に**青年プロジェクトチーム**を設置し、次世代の富山県を担う若い方々の発想を活かして、人口減少対策、移住・U I Jターンの促進について検討、取り組みを実施
- 安全で安心な妊娠・出産や産前・産後のケア、子どもの心身の成長への支援など、母子保健の推進を図るとともに、**周産期保健医療体制の整備、不妊症・不育症対策を推進**

#### <家庭・地域における子育て支援>

- 産後間もない時期の女性の負担軽減のための**家事サポート利用への支援**や、病児・病後児保育の充実など、**家庭・地域での子育て支援**
- **長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方の推進等**を通じたゆとりある生活の実現や、**男性の家事・育児参画の推進など仕事と子育ての両立支援**
- 国の幼児教育・保育の無償化措置の対象とならない世帯への**保育料無償化・軽減措置**や、**子育て応援券の配布、子育て家庭の医療費や教育費、保育支援サービス料などの経済的負担を軽減**
- **新川文化ホール敷地内での子どもが楽しめる屋内型レクリエーション施設の整備**や、子育て支援の観点にも立った**県立都市公園の魅力向上策の検討**

#### <職場における子育て支援>

- **仕事と子育ての両立の実現に向けて、従業員の子育てへの支援を積極的に行っている企業の取り組み等の普及啓発**を図るとともに、富山労働局と連携しながら、**中小企業も対象に一般事業主行動計画の策定支援**を行い、働きやすい職場環境の整備を促進
- **事業所内保育施設を設置・運営する企業に対する助成制度や低利融資により、事業所内保育施設の設置を促進。**
- 働き方改革の取り組みを推進するため、県民、企業等への普及啓発を行うとともに、**企業を顕彰する県民運動を展開**するなど、働き方改革の機運を醸成
- **男性が家事・育児等を担うことに対する社会全体の理解の醸成や県民への意識啓発を促進**

## ◆基本目標2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

**数値目標** : 若者・女性の転入増・転出減を目指す

[基準 (R1)] 若者・女性の転出超過数△1,159人 → [R6] 移動均衡人口の社会増を目指す

[基準 (R1)] △813人(転出超過) → [R6] 転入超過を目指す

「ずっと富山県に住みたい」「富山県に戻って住みたい」と考える高校生の割合

[基準 (H27)] 59.8% → [R6] 向上させる

### <産業・地域経済の活性化>

- 「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムによる取組みを通じて本県の特色や強みを活かした研究開発と専門人材の育成・確保を推進
- 「新・富山県ものづくり産業未来戦略」の『とやま成長産業創造プロジェクト』に位置づけた次世代自動車、航空機、ロボット等の成長分野の更なる振興に向けた支援の充実
- アルミコンソーシアムやヘルスケアコンソーシアムにおける産学官・企業間が連携して行う研究開発などオープンイノベーションの促進
- 旧県職員住宅(富山市蓮町地内)を、高校生のリノベーションプラン(建築甲子園優勝)をもとに創業支援施設及びUIJターン者等向け住居に改修し、職住一体となった拠点を整備
- 総合デザインセンターにおける、クリエイティブ・デザイン・ハブ等を活用した商品の共同開発、魅力あるお土産商品作りなどデザインを活用した高付加価値の商品開発の支援
- 高岡テクノドームについて、北陸新幹線の敦賀開業等に向け、新たなコンベンションニーズや5Gなど最先端技術に対応した展示機能や、若者や親子連れが集い、交流できる機能を備えた、魅力ある別館の整備
- 中小・小規模企業の創業、事業承継、商品開発・販路開発等の支援
- 首都圏等からの本社機能移転など企業立地の促進

### <農林水産業の振興>

- 地域の創意工夫による需要に応じた米生産と水田フル活用や、「富富富」ブランドの確立に向け、栽培基準の遵守による高品質・良食味生産の確保・県内外でのプロモーションの展開、収益性の高い園芸作物の生産拡大、畜産農家の生産基盤強化など、さらなる高付加価値化や競争力強化を図り、本県農業の成長産業化を推進
- 農業の大幅な生産性向上に結びつくスマート農業の推進に向け、スマート農業技術をモデル実証するとともに、人材育成や普及の拠点のため「とやまスマート農業拠点(仮称)」施設を整備
- 県産農林水産物の輸出促進を図るため、海外食品見本市への出展等による販路開拓や、海外向け商品開発への支援等、発展段階や輸出相手国に応じた支援を実施
- 水と緑の森づくり税を活用した、里山林整備、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を推進するとともに、県産材の活用を促進
- 次世代栽培漁業対象魚種であるキジハタ・アカムツについて、新たな種苗生産施設の活用による早期事業化に向けた技術開発の加速化
- ホタルイカ、シロエビ、高志の紅(アカ)ガニ、ブリを中心とした「富山のさかな」のPRを首都圏はじめ県内外において実施
- 本県の栽培漁業を一層推進していく観点から、今後の栽培漁業の推進方策の検討を進めるとともに、その方向性を踏まえつつ、教育や観光などの視点も交えて氷見栽培漁業センターの改修整備を推進

## <環境・エネルギー>

- 国全体としての官民を挙げた技術革新の取組みを働きかけるとともに、「とやまゼロカーボン推進宣言」を機に、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、温室効果ガスの排出量削減や吸収源対策などの取組みを加速

## <若者の県内定着>

- 首都圏・関西圏・中京圏における富山くらし・しごと支援センターの相談体制の充実や就職支援協定締結校など県外大学との連携を強化し、就職セミナーや合同企業説明会を開催するとともに、高度な知識や技術、豊富な経験を有する首都圏等の人材に焦点を当てたUIJターン就職対策の推進
- 富山県インターンシップ推進センターにおいて、複数企業間で実施する新たなインターンシップ等を促進するとともに、県外出身大学生とその父母へ県内企業の魅力や本県の住みやすさ・暮らしやすさを動画等でアピールすることなどにより、県内大学生等の県内定着を促進
- 県内大学等に在籍する学生を対象に富山県で働き暮らす魅力を伝える企業訪問バスツアーや県内企業で働いているOB・OGとの交流会を開催するとともに、保護者向け就職セミナーの開催やウェブサイト等により県内企業の魅力を発信するなど、Tターン(県内大学生の県内定着)を促進
- 県立大学看護学部における教育課程の充実検討

## <地域づくり、観光の振興>

- 「立山・黒部」世界ブランド化の推進について、2024年の黒部ルート的一般開放・旅行商品化に向けたプロモーションの準備や、立山・美女平間のロープウェイ整備に伴う新駅舎及び周辺機能の検討、バリアフリーに配慮した称名滝へのアクセス向上、美女平・弥陀ヶ原等の滞在周遊の検討などを推進
- 「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会の開催を契機とし、富山湾の国際的なブランド価値の向上や国内外からの誘客促進のため、湾クラブ加盟湾同士のネットワーク強化、「富山湾岸サイクリング」の開催やサイクリングコースの整備、新湊マリーナのブランド化、クルーズ客船の誘致・受入態勢の整備の推進
- 国際観光について、外国人旅行者のニーズをふまえつつ、県内外の観光資源を組み入れた広域的な観光周遊ルートの開発・形成を促進
- 県広報課に「ブランド戦略推進班」を新設し、富山県の統一的なブランドイメージを確立し、効果的に県のイメージアップを推進
- 情報発信拠点「日本橋とやま館」において、物販、飲食、観光・定住・UIJターン、交流・イベントなどの多彩な機能を活用し、富山の魅力を首都圏に向けて強力で発信
- 「立山・黒部」や「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録や世界ジオパーク認定に向け、構成資産の充実や顕著な普遍的価値の証明に取り組むとともに、普及啓発活動を推進
- ファッションイベントやeスポーツイベントの開催支援等を通じた、若者などに魅力的な地域づくりの推進

## <移住・定住の促進、応援人口の創出・拡大>

- 「富山くらし・しごと支援センター」の富山オフィス、東京(有楽町・大手町)・名古屋・大阪オフィスと、「人材活躍推進センター」とが連携し、ワンストップで移住・UIJターン者の相談を受けるとともに、SNSを活用した情報発信を行うほか、移住サポーターを設置するなど体制を強化
- 本県への移住や二地域居住、副業・兼業を希望する社会人を対象としたフィールドワークの実施など、将来的な移住に向けた応援人口の拡大
- 首都圏の大学生を対象とするワークショップとインターンシップの実施などにより、県外学生の県内就職と受入企業の新規事業創出を促進

- 県・市町村、民間事業者が連携し、サテライトオフィスの誘致に向けた誘致チームの設置や誘致企業への助成などの支援の実施
- 県外在住者も対象に、県内で地域課題の解決や地域活性化に資する新たな事業プロジェクトを実施する事業者の資金調達（クラウドファンディング）を支援するなど、応援人口（関係人口）の創出に向けた取り組みを実施
- 本県の地域活性化に取り組む県出身者や、富山ゆかりの企業との連携

### ◆基本目標3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

**数値目標** : 1人当たり県民所得の維持・向上

[基準 (H28)] 329.5万円 → [R6]同水準を維持又は向上 (全国5位以内)

#### <若者や女性が輝いて働ける環境づくり>

- 「とやま起業未来塾」、「とやまスタートアッププログラム in 東京」による起業支援
- 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」に基づく一般事業主行動計画の策定が努力義務となっている中小企業の計画策定を支援
- ライフイベントに応じたキャリア形成の支援や、「女性就業支援センター」での取り組み等を通じて、安心して働ける雇用環境の整備や結婚・出産を機に離職した女性の再就職を支援

#### <高齢者等が活躍できる社会の実現>

- 専門的知識・技術等を有し就業に意欲的な高齢者への職業紹介と企業の人材確保をハローワークと一体となって総合的に支援
- 「エイジレス社会（生涯現役社会）」の実現に向け、エイジレス社会リーダー養成塾の開催等により、地域社会の担い手となる元気な高齢者やシニアタレント（一芸に秀でた高齢指導者）等のエイジレス人材の育成を促進
- 多くの障害者が就職し、職場に定着できるよう、ハローワーク等の関係機関と連携し、障害のある学生の支援を含め障害者の就業機会の拡大を促進

#### <外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり>

- 経済成長著しいアセアン地域などからの優秀な留学生の県内高等教育機関への受入れ拡大やアジア各国で学ぶ大学生の県内企業における就職・活躍を促進
- 外国人材活躍について、①高度な外国人材（留学生等）の積極的な活用、②外国人技能実習制度の利用促進・技能実習生の育成、③新たな在留資格（「特定技能」）の受入れ
- 多文化共生について、①相談体制の充実、日本語習得の支援など地域におけるコミュニケーションの支援、②教育（外国人児童生徒等）に関する支援、③医療、災害対応など生活支援の充実、④住民が主体となった多文化共生の地域づくりの推進

#### <多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上>

- 第2新卒等を対象としたインターンシップの実施
- いわゆる「就職氷河期世代」に対する就職支援
- 県内企業に対し、積極的な経営展開や企業の成長の実現を担うプロフェッショナル人材の確保を支援
- 「とやま観光未来創造塾」により、魅力ある観光地域づくりや高度な観光ガイド、インバウンドツアーの企画・運営などができる国内外からの旅行者の多様なニーズに対応した次世代の観光を担う人材の育成や観光事業者と他産業の事業者とのネットワーク形成を支援
- セミナーやワークショップの開催など「富山県IoT推進コンソーシアム」による県内企業のIoT、AI等の導入促進や人材の育成・確保、ローカル5G活用の支援

- ものづくり・ICT分野等の技術を活かした、生産性や農産物品質の向上、経営の多角化などに向けた新しい取組みを推進するとともに、「とやま農業未来カレッジ」の充実等により、次世代の担い手育成を図り、本県農業の競争力を強化

#### ◆基本目標4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

**数値目標** : 健康寿命の延伸

[基準 (H28)] 男性 72.58 歳、女性 75.77 歳

→ [R6] 男性 73.88 歳、女性 77.01 歳

「これからも富山県に住みたい」と感じる人の割合

[基準 (R1)] 80.1% → [R6] 同水準を維持又は向上

##### <交通、まちづくり>

- 金沢・敦賀間の令和4年(2022年)度末までの開業、大阪までの令和12年(2030年)度末頃までの全線開業に向け、例えば貸付料の算定期間の延長や国費の増額などの実現に向け、北陸・関西の沿線府県、経済界などと連携し、政府等に対し強力で働きかけ
- 富山地方鉄道の高架化など、富山駅南北一体のまちづくりを推進
- 東海北陸自動車道の全線4車線化などの広域的な連絡を強化する高速道路やスマートインターチェンジ、市町村間の連絡を強化する幹線道路、新幹線駅・港湾等の交通・物流拠点や主要観光地へのアクセス道路の整備等
- 大型化する船舶の入出港や荷役作業の円滑化に必要な港湾施設整備や、クルーズ客船受入れに向けた施設整備など、日本海側の「総合的拠点港」にふさわしい港湾機能・物流ネットワークの充実を促進
- シベリア・ランド・ブリッジについて、輸送日数の14日程度への短縮や安定化に向けて輸送実験を進めるほか、国内輸送費への助成制度の創設、アドバイザーの配置等によりロシア・欧州向け貨物の集荷を促進
- 羽田便をはじめとした既存定期便の路線の充実、関西、九州・沖縄など西日本方面や東南アジア方面などへの新規路線開設に向けたチャーター便の運航支援などに取り組む。また、運航支援会社など関係者への働きかけにより、ビジネスジェットの利用拡大を促進  
さらに、羽田乗継便のPRなどエアポートセールスの実施、空港へのアクセス向上、イベント開催などにより、空港の利用を促進
- 市町村の中心市街地活性化基本計画等に基づく事業に対する支援、市街地再開発事業等による居住、商業、業務機能の集積や学校、文化、福祉施設などの中心市街地への立地促進
- 中山間地域やまちなか等における地域のまちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築や地域の実情に応じた最適な公共交通サービスの展開による県民の生活の足の確保・充実、高齢者や障害者など誰もが安心して移動できるための人にやさしく、利便性の高い公共交通サービスの充実や公共交通の利用促進
- 城端線・氷見線のLRT化などの活性化方策の検討を進めるほか、豊富な鉄軌道網を活用した地域公共交通の利用促進や、持続可能で安全・安心な地域公共交通の基盤づくりの推進、バス位置等の情報提供、相互利用可能な交通ICカードの導入促進
- 第5世代移動通信システム(5G)について、本県における基地局の早期整備を国、事業者等に要請するとともに、5Gの利活用方策の検討、ローカル5Gのモデル実証を推進

### <スポーツ・文化の振興>

- **武道競技や室内スポーツ競技だけでなく、コンサートなどのイベントを開催するなど賑わい創出・地域活性化に寄与する武道館機能を有する多目的施設の整備を推進**
- **未来のアスリート発掘事業など、ジュニア期から強化に取り組む一貫指導體制の推進、主力競技等の重点強化、県体育協会と競技団体等との連携による総合的な強化活動の推進、オリンピックやパラリンピック等での活躍を目指すトップアスリートを支援する体制づくりの推進**
- **世界の子どもたちが参加する「とやま世界こども演劇祭」、「国際工芸アワードとやま」の開催など、特色ある国際的な文化振興の充実**
- **富山県美術館周辺の賑わいづくりや魅力的な企画展の実施、アトリエやギャラリーを活用したワークショップの開催など次世代を担う子どもたちの文化活動の充実と若手芸術家の育成**
- **高志の国文学館を拠点に、高岡万葉歴史館とも連携して大伴家持の越中万葉の文化力を発信**
- **利賀芸術公園について、利賀サマーシーズンの開催や、シアターオリンピックスの共同開催を契機として舞台芸術を通じたロシア・サンクトペテルブルク市との交流など、アジアを代表する舞台芸術の拠点づくりの推進**

### <人生 100 年時代を見据えた人づくり>

- **経済団体をはじめ、医療関係者や各種団体の代表者からなる「富山県健康寿命日本一推進会議」の開催など、社会全体で健康寿命の延伸に向けた取組みを推進するための気運を醸成**
- **高齢者等が楽しみながら交流できるウォークラリーやスポーツ大会・体験会等を行う「ねんりんスポーツフェスタ」を開催し、高齢者の社会参加や運動習慣の定着を支援**
- **ひきこもり対策として、居場所づくり等の支援充実**
- **医療機関の施設・設備の整備に対する支援や、県立中央病院の機能強化などを通じ、安心で質の高い医療サービス提供体制の整備・充実を推進**
- **国の方針（R5年度までに小中学生に一人一台のタブレットを配備）をふまえ、県立学校でのタブレット整備を推進**
- **知的好奇心や学習意欲を高め、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、それらを活用する力や探究心を培う教育を実施、また英語教育の充実により国際人として活躍する資質を育成するとともに、科学分野への興味・関心を高め、その能力を伸ばす教育を推進**
- **いじめ、不登校対策（スクールカウンセラー、スクールロイヤー等の配置）、教員の多忙化解消（部活動指導員、スクール・サポート・スタッフ等の配置）の推進**
- **児童相談施設の機能充実や、相談体制の強化など、児童虐待への対応強化**
- **人生 100 年時代や急速な技術革新の進展等を見据え、首都圏の大学と連携した起業家育成プログラムの実施など、社会人が常にスキルの向上を図り、キャリアアップなど人生の様々なステージで活躍できるようにするリカレント教育の普及啓発**
- **「人生 100 年時代」を見据え、県民一人ひとりが、生涯学習講座など、ライフステージに応じた多様な学習の機会や場を選択できるように支援**

### <持続可能で安心して暮らせる地域づくり>

- **「SDGs 未来都市」として、市町村や関係団体、企業、県民の皆様との連携を一層強化しながら、県全体で、SDGs の普及啓発に取り組むとともに、持続可能な県づくりを推進**
- **国全体としての官民を挙げた技術革新の取組みを働きかけるとともに、「とやまゼロカーボン推進宣言」を機に、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、温室効果ガスの排出量削減や吸収源対策などの取組みを加速**
- **本県の水循環系を保全するため、森林などの水源の保全と地下水の保全や涵養を推進**
- **河川及び海岸が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境に配慮するとともに、地域住民への憩いとやすらぎ空間の提供など、水辺の空間の質的向上を推進**

- 市町村や民間の空き家活用の取り組みなどを支援し、**空き家の解消や未然防止**を図るとともに、地域の個性を生かした快適で魅力あるまちづくりを推進
- 全国に先駆けた**県食品ロス削減推進計画の策定**、食品流通段階における3分の1ルールなどの**商慣習の見直し**、食品ロス削減につながる**食生活の啓発**など**食品ロス・食品廃棄物の削減**に取り組むほか、富山の食に着目した「富山型食生活」の実践やライフステージに応じた健全な食生活の実現による健康増進など県民運動として食育を推進
- 本県の防災・危機管理の中核施設として「**防災・危機管理センター（仮称）**」を整備し、平時には防災・危機管理の訓練・研修等を実施するとともに、消防団、自主防災組織の人材確保など**地域防災力の向上**を推進
- 地域の防犯活動の中核を担う地区安全なまちづくり推進センターの活動や民間パトロール隊、青色回転灯装備車両（青パト）による自主防犯活動など、**地域住民や事業者、関係機関が一体となった地域防犯活動**を支援
- 地域の治安の維持や災害時の拠点となる警察施設の整備、広域化・高度化・複雑化する犯罪や災害発生時に迅速・的確に対処できる人材育成及び装備資機材等の充実・強化

#### <豊かで魅力ある中山間地域の実現>

- 中山間地域における**持続可能な地域運営の仕組みづくり**を推進するために、地域づくりをサポートする人材の育成を促進
- **地域おこし協力隊**のサポート体制の強化とネットワーク化の推進や、**大学生等によるフィールドスタディ**の実施などによる地域住民と外部人材との交流を推進
- 中山間地域等の農林水産物等の資源を活用した加工品等を「ふるさとの宝」として発掘し、それらを加工・生産している中小事業者の物流や商品ブランディングなどへの支援を行い、首都圏への流通ルートを構築することで、**地域住民の活力向上や地域経済の活性化**を促進
- 市町村等の**地域公共交通の確保**や**地域が連携して行う輸送サービス創出**に対して支援することで、地域住民の日常生活や社会生活などを支える地域の足を確保
- 日常生活において身近な買い物に不便を感じる**買い物弱者の生活利便性を向上**させる取り組みを支援